

2023年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)



2022年10月31日

上場会社名 株式会社大冷 上場取引所 東
 コード番号 2883 URL https://www.dai-rei.co.jp/
 代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 富田 史好
 問合せ先責任者(役職名) 専務取締役管理統括本部長 (氏名) 黒川 岳夫 (TEL) 03(3536)1551
 四半期報告書提出予定日 2022年11月10日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家、アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第2四半期の業績(2022年4月1日~2022年9月30日)

(1) 経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第2四半期	13,107	18.5	758	68.1	799	77.7	539	79.1
2022年3月期第2四半期	11,059	1.3	451	18.2	449	8.8	301	10.5
	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益					
	円 銭		円 銭					
2023年3月期第2四半期	91.27		—					
2022年3月期第2四半期	50.96		—					

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第2四半期	12,387	8,825	71.2
2022年3月期	11,523	8,670	75.2

(参考) 自己資本 2023年3月期第2四半期 8,825百万円 2022年3月期 8,670百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	—	—	65.00	65.00
2023年3月期	—	—	—	—	—
2023年3月期(予想)	—	—	—	55.00	55.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年3月期の業績予想(2022年4月1日~2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	25,000	8.9	1,150	10.0	1,150	7.7	788	8.0	133.34

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料6ページ「2. 四半期財務諸表及び主な注記(4) 四半期財務諸表に関する注記事項(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

2023年3月期2Q	6,008,300株	2022年3月期	6,008,300株
2023年3月期2Q	98,627株	2022年3月期	98,627株
2023年3月期2Q	5,909,673株	2022年3月期2Q	5,909,673株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	4
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	5
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響が続いておりましたが、生活習慣の変化やワクチンの普及、段階的に行動制限が緩和されたことなどにより、経済活動は以前の状態に戻りつつあります。しかしながら、長期化しているロシア・ウクライナ情勢や歴史的な円安によるエネルギーコストや原料価格の高騰は当面収まらないと思われ、まだまだ厳しい状況が続くと想定されます。

国内食品業界におきましては、エネルギーコストや原料価格の高騰により、販売価格の改定が繰り返し実施される状況で、消費者の購入マインドを低下させる厳しい状況となっております。

このような状況のもと当社は、原料価格値上げや物流コスト上昇に対応するための販売価格改定を推進するとともに、直接貿易で調達したえび商品の販売という新たな取り組みを軌道に乗せるため、積極的に営業活動を進めてまいりました。以上の結果、骨なし魚事業におきましては、「ダイスカットシリーズ」など当社独自商品の販売強化により売上高4,998,607千円（前年同期比5.9%増）、ミート事業におきましては、「楽らく匠味シリーズ」の販売強化などにより売上高1,227,761千円（前年同期比17.2%増）、その他事業におきましては、直接貿易で調達したえび商品の拡販やベトナムに向けた輸出取引の拡充などにより売上高6,880,907千円（前年同期比30.0%増）となりました。これにより当第2四半期累計期間の売上高は13,107,276千円（前年同期比18.5%増）となりました。

損益面につきましては、商品増加により保管料が増加しましたが、売上の増収と直接貿易など仕入コスト削減により粗利金額が増加したことにより、営業利益は758,688千円（前年同期比68.1%増）、経常利益は799,026千円（前年同期比77.7%増）、四半期純利益は539,398千円（前年同期比79.1%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産の部)

当第2四半期会計期間末における総資産は、12,387,013千円となり、前事業年度末と比較して863,770千円増加となりました。これは主に現金及び預金が644,776千円減少した一方で、受取手形及び売掛金が741,917千円、前渡金が463,845千円増加したことによるものです。

(負債の部)

当第2四半期会計期間末における負債合計は、3,561,788千円となり、前事業年度末と比較して708,734千円増加となりました。これは主に短期借入金500,000千円、未払法人税等が85,935千円増加したことによるものです。

(純資産の部)

当第2四半期会計期間末における純資産合計は、8,825,224千円となり、前事業年度末と比較して155,036千円増加となりました。これは主に四半期純利益の539,398千円計上と配当金の支払384,128千円により利益剰余金が155,269千円増加したことによるものです。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期会計期間末における現金及び現金同等物は、前事業年度末に比べて644,776千円減少して2,098,470千円となりました。当第2四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間における営業活動によるキャッシュ・フローは、790,040千円の支出（前年同期は753,695千円の支出）で、主な収入要因は税引前四半期純利益799,026千円であります。一方、主な支出要因は売上債権の増加額741,917千円、前渡金の増加額463,845千円、棚卸資産の増加額354,762千円であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間における投資活動によるキャッシュ・フローは、896千円の支出（前年同期は2,989千円の支出）で、支出の主なものは無形固定資産の取得による支出713千円であります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間における財務活動によるキャッシュ・フローは、111,561千円の収入（前年同期は328,573千円の支出）で、収入要因は短期借入金の純増額500,000千円であります。一方、主な支出要因は配当金の支払額384,128千円であります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年3月期の将来予想につきましては、2022年5月10日に公表いたしました業績予想から変更ございません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2022年3月31日)	当第2四半期会計期間 (2022年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,743,246	2,098,470
受取手形及び売掛金	3,888,909	4,630,826
商品	2,476,335	2,831,611
前渡金	1,453,662	1,917,508
その他	70,070	27,767
貸倒引当金	△386	△463
流動資産合計	10,631,838	11,505,721
固定資産		
有形固定資産	643,736	635,741
無形固定資産	20,721	19,090
投資その他の資産		
その他	234,255	233,770
貸倒引当金	△7,310	△7,310
投資その他の資産合計	226,945	226,460
固定資産合計	891,404	881,291
資産合計	11,523,242	12,387,013
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,825,122	1,839,917
短期借入金	—	500,000
未払法人税等	200,439	286,375
賞与引当金	27,359	52,233
その他	424,211	498,371
流動負債合計	2,477,132	3,176,897
固定負債		
退職給付引当金	244,400	259,676
その他	131,520	125,215
固定負債合計	375,921	384,891
負債合計	2,853,054	3,561,788
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,909,825	1,909,825
資本剰余金	686,951	686,951
利益剰余金	6,269,268	6,424,537
自己株式	△200,091	△200,091
株主資本合計	8,665,953	8,821,222
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	4,234	4,001
評価・換算差額等合計	4,234	4,001
純資産合計	8,670,188	8,825,224
負債純資産合計	11,523,242	12,387,013

(2) 四半期損益計算書

第2四半期累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自2021年4月1日 至2021年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自2022年4月1日 至2022年9月30日)
売上高	11,059,186	13,107,276
売上原価	9,147,299	10,710,834
売上総利益	1,911,886	2,396,441
販売費及び一般管理費	1,460,614	1,637,752
営業利益	451,272	758,688
営業外収益		
受取賃貸料	4,488	4,488
為替差益	—	34,599
その他	5,409	2,710
営業外収益合計	9,897	41,797
営業外費用		
賃貸収入原価	1,226	1,446
為替差損	10,124	—
その他	145	14
営業外費用合計	11,496	1,460
経常利益	449,673	799,026
税引前四半期純利益	449,673	799,026
法人税等	148,516	259,627
四半期純利益	301,157	539,398

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	449,673	799,026
減価償却費	10,397	10,649
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△2	77
受取利息及び受取配当金	△277	△299
支払利息	—	10
賞与引当金の増減額(△は減少)	△5,378	24,873
退職給付引当金の増減額(△は減少)	10,804	15,276
売上債権の増減額(△は増加)	21,222	△741,917
棚卸資産の増減額(△は増加)	△277,320	△354,762
前渡金の増減額(△は増加)	△939,823	△463,845
仕入債務の増減額(△は減少)	124,436	14,794
その他	△1,075	85,327
小計	△607,341	△610,789
利息及び配当金の受取額	277	299
利息の支払額	—	△121
法人税等の支払額	△146,632	△179,430
営業活動によるキャッシュ・フロー	△753,695	△790,040
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△3,170	△309
無形固定資産の取得による支出	△700	△713
投資有価証券の取得による支出	△226	△232
その他	1,107	359
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,989	△896
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	—	500,000
リース債務の返済による支出	△3,541	△4,309
配当金の支払額	△325,032	△384,128
財務活動によるキャッシュ・フロー	△328,573	111,561
現金及び現金同等物に係る換算差額	△10,124	34,599
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△1,095,383	△644,776
現金及び現金同等物の期首残高	4,310,327	2,743,246
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,214,944	2,098,470

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第2四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。